



意識して 生活すること

保育室での生活の中で、たくさんの会話が交わされています。
自分を中心とした会話、友だち同士の会話、保育者との会話、保育者同士の会話・・・
自分に関係ない会話は、聞き流していることがあると思います。そして、自分に都合の悪いことは、聞いていても聞き流している子どもたちの姿が見えます。

指示が多い生活だと提案（指示）を聞いていても聞き流してしまっている事があるのではないかと思います。「あっ、またかー」「〇〇してるから、いいかー」「いつもとおなじだー」とその状態が続くと、本当に話を聞かなければいけない時に、聞くことができない状態になります。集まりの時の話もしかり、保育者との向き合っている話についてもしかり、お母さんやお父さんとの話についてもしかりです。

なるべく提案（指示）は少なく、自分で考えて行動することができる時間を作るようにしていきたいと思っています。「11 時の時計の音が鳴ったらお茶会をする人はお片付けをしてください。」この話の中には、「お茶会をしない人は片づけなくてもいい」という内容が含まれています。考えて自分はどうするか？です。「お茶会しない」といつてきた K くん。「K くん、お片付けしないよ」という指摘がありました。「K くんは、お茶会しないといっているから、お片付けしなくてもいいと思うよ。K くんが出したところそのままでもいいからね。」と伝えました。保育者も自分で言ったことには、責任をもたなければいけません。全員に片づけをしてほしいならば、お茶会をしたい人は・・・と言い方をしてはいけません。お茶会をしたくない子の要望をちゃんと受け止めなければいけません。そこは中途半端にしてはいけないところです。

「お茶会をしない」と言った K くんも自分の言動に責任を持たなければいけません。ですよ。

「積み木で作った滑り台は、先生が作ったので壊さないでください。崩れてしまったら直してください。けんかになったら、滑り台は使わないでくださいね。」この会話からどんなことを考えますか？子どもたちは、意識して聞いているので、「ここ、壊したら直すんだよ」「喧嘩したら使えないよ」と子ども同士で伝え合い、遊びあっているようすがみられました。意識して話を聞く。そして、自分で判断して行動する。そこに、自分たちの自由があるのです。自由に行動するには、底辺にルールがあります。そのルールは、大人の提案で作っていつてしまつては、なぜそのルールがあるのか分からずに、過ごしてしまうため、自分の物にはなりません。意識して話を聞くことを通して根底のルールに気づいて欲しいと思っています。

基本保育時間は、
7:30~18:30 です。
7:00~7:30、
18:30~19:00
の利用の場合は、
お知らせください。



《お 知 ら せ》

○6月3日（木）から外装修理がはじまりました。足場を組んで、約2週間くらいかかりそうです。ご不便をおかけしますが、気をつけて通行してください。よろしくお願ひいたします。

○衣替えの季節になりました。梅雨に入るとまた気温がさがるかもしれませんが、半袖、半ズボン、長そでの羽織る物などを着替えとしてご準備ください。よろしくお願ひいたします。

